

## 令和6年度 猪苗代町教育委員会

### 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価の結果に関する報告書（概要）

#### 1 教育委員会の点検・評価について

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正が行われ、新たに教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、毎年点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならないとされた。（法第26条第1項）また、上記の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされている。（同条第2項）

#### 2 猪苗代町教育委員会の点検・評価について

##### （1）点検・評価の対象根拠

猪苗代町教育委員会基本目標に基づき、令和6年度の重点事項の執行状況を対象とした。

##### （2）令和6年度重点事項

別紙の通り

##### （3）評価の具体的な方法

①事業名

②項目

③達成目標・内容（数値目標）

④点検・評価（自己評価）

⑤有識者による意見・評価

##### （4）学識経験者の知見の活用

点検及び評価を行うに当たっては、教育に関する学識経験を有する者の知見の活用を図ることにより、客観性を確保するためのものであり、猪苗代町教育委員会の教育に関する事務の点検及び評価の実施に関する要綱に基づき、3名の委員の方々から様々な意見・指導を得ることができた。

① 外部評価開催日：令和7年8月21日（学びいな）

② 猪苗代町教育委員会外部評価委員 3名

#### 3 点検・評価の結果

別紙の通り

教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価の結果に関する報告書【概要】

1 教育総務課

重点事項	充実した活力ある学習環境の整備	
事業名	1. 学校施設の長寿命化と適正配置	
主要項目	①町教育施設適正配置の推進 ②感染症対策等の学校教育活動継続支援	
自己評価	統合した小学校の長寿命化工事を実施し、安全で快適な教育環境の確保に努めた。小中学校へのスムーズなスクールバス運行管理と、児童の乗降時や歩行時の安全管理のため誘導員を配置して対応をとった。また、感染症対策として、各学校にて消毒液やペーパータオル等の消耗品を購入し、感染症対策に努めた。	C
外部評価	安全で快適な学校生活が送れるよう様々な整備を行ってきたことが報告書からうかがえた。うがい手洗いの励行を引き続きお願いしたい。町と地域の方と一緒に子供たちのためにより良い環境を作っていただけるようお願いしたい。	C
重点事項	「生きる力」の基礎を培う教育活動の実践、支援	
事業名	1. 園児、児童生徒に夢と希望を与え、生きる力の基礎を培う園、学校づくりの推進 2. 国際化、情報化等（変化）に対応する教育の実践 3. キャリア教育の推進 4. 生徒指導の充実	
主要項目	①存在感(特色)のある、学校づくりの実践、②「私たちの誓い6ヶ条」運動の実践 ほか	
自己評価	小学校統合初年度の影響から児童が推薦図書に触れる機会は減ったが、司書補の取組により読書活動への興味を高めることができた。町特別支援教育アドバイザーの配置により、特別な支援を必要とする園児児童生徒の支援のあり方について助言を行うことができ、キレ目のない支援を推進することができ、支援を必要とする児童生徒にきめ細かく対応する環境整備ができた。さらに、研修会を通して、支援員自身が特別支援教育に関する理解や支援の方法を学ぶことができた。SNSなどに関する情報モラル教育の推進については、授業や外部講師による講義を実施し、主にSNS利用の危険性・長時間利用による健康への影響等について理解を深めることができた。小中学生とも農業体験や見学学習を通して収穫の喜びや充実感を味わうことができた。中学生は体験を通して働くことの大切さや意義を学ぶなどキャリア教育の推進を行った。いじめの未然防止の取り組みを行った。いじめの認知件数は昨年と同数であるが、学校との情報共有や指導助言、スクールカウンセラーの活用により重大な案件には至っていない。	C
外部評価	子供一人一人の学ぶ権利が侵害されないような対応をお願いしたい。ALTの授業は良いと思っており、ネイティブな英語で意思疎通ができるよう子供たちが肌で感じられる教育方法は評価できる。支援が必要な子が充実した学校生活を送れるように対応をお願いしたい。推薦図書に触れる機会が減ったとの理由があったので、今年度はたくさん親しめるように改善してほしい。職員間の情報共有、スクールカウンセラーとの連携強化を図り、安心して通える学校にしていただきたい。	C
重点事項	「確かな学力」を育む授業づくりの実践、支援	
事業名	1. 一人一人に確かな学力をつけさせる授業づくりの実践 2. 各学年、学級、個人の学力実態把握による授業改善の実践・支援 3. 一人一人の学習意欲を喚起し、やる気を育てる工夫、実践	
主要項目	①個人研究、校内研究の推進及び町学力向上推進事業による授業研究会、学力検査の実施と結果の分析・活用 ほか	
自己評価	外部講師による授業提供や講義を受けることにより、教職員が日々の指導の疑問を解決したり、授業のコーディネートの仕方を学んだりするなど確かな学力を育む授業づくりの一助となった。協働的な学び、個別最適な学びにつながるよう、中学校では各教科でミライシードを積極的に活用した。外部講師からICT機器の効果的な活用について教員が学ぶことができた。学力については国語、算数・数学ともに全国平均を下回っている。特に算数・数学、については、福島県全体の課題でもあり、基礎的・基本的な数学的・技能の向上を図るとともに、数学的な見方・考え方を押さえ、児童生徒が解決方法を説明したり、次につながる考え方や知識を身につけられるようにしたりすることができる授業を目指している。国語科においては、考えの根拠を示したり話し合いを通して自分の考えを広げたり深めたりすることが出来る授業を目指している。その他英語科では、中学校においてスペリングコンテストや各種検定を実施することにより、学習の基礎基本の定着を図り、目標をクリアすることで学習意欲を高めたり自信をもったりすることにつながった。	C
外部評価	東京学芸大との事業連携など、指導力向上を目指す取り組みが継続的に実施されており、東京学芸大との連携は猪苗代町の特色ひとつで、誇れるものである。学力調査については、つまずきの原因とか子供たちの得意不得手を把握して授業づくりに活かしてほしいのと、家庭とも連携しながら学力向上を目指してほしい。	C
重点事項	「健やかな体」をつくる教育活動の実践、支援	
事業名	1. 園児、児童生徒の体力、運動能力の増進 2. 家庭や地域、関係機関との連携による園児、児童生徒の健康増進 3. 災害等緊急時の対応や放射線健康リスク管理に関わる危険予知・対処・回避能力の育成	
主要項目	①体力運動能力の増進、各種大会参加支援 ②食育の推進 ③交通安全教室や放射線教育の実施 ほか	
自己評価	本町の子どもたちの体力、運動能力の実態調査では、体力合計点5段階評価の下位層の割合は男子で減少した。小中男子17.0%（R5 19.0%）。「体力合計点」は小学校、中学校ともに全国及び県平均を上回っており、野口体育祭では大会新記録が2つ、中学校の男子駅伝が全国5位、野球が東北2位等等活躍が見られた。朝食の摂取率調査（年2回）の結果、小学校98.4%（R5 99.3%）中学校94.8%（R5 97.3%）であった。各小中学校の緊急時対応マニュアルの取り組みにより、災害時の対応について学ぶことができた。また、通学路の点検を行い、各校から報告のあった危険箇所を庁内関係課及び関係機関と確認して対策を検討し、歩行者の安全確保に努めた。	B
外部評価	体力・運動能力向上のため指導主事が各学校で指導をしていることは、町独自の取り組みで評価できる。体力テストの結果、野口体育祭の記録にも表れている。中学生の活躍も素晴らしかった。朝食の摂取率が若干下がったが高い水準を維持している。	A

評価基準  
自己評価 A：大きく上回る B：やや上回る C：目標達成 D：やや下回る E：大きく下回る  
外部評価 A：期待以上 B：やや上回る C：期待どおり D：やや下回る E：期待以下

教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価の結果に関する報告書【概要】

2 こども課

重点事項	充実した活力ある学習環境の整備	
事業名	1. こども園施設整備・修繕、教育保育備品整備事業	
主要項目	園児等の快適な教育環境を維持するため、施設の整備・修繕及び教育備品等の整備を行う。	
自己評価	ひまわりこども園は開園9年目、さくらこども園は開園13年目を迎え、園舎や設備等に経年に伴う不具合等が発生したが、適宜、修繕を実施するとともに、備品整備や保育室の畳表替えを行い快適な教育・保育環境の維持に努めた。また、令和4年度に各こども園に導入した保育施設ICTシステムについて、令和5年度から園児の登降園管理、通園バス運行管理、写真販売等、使用する機能を追加し、業務の効率化と利用者サービスの向上を図っている。	C
外部評価	子どもたちが快適に安全・安心に過ごせるよう、引き続き環境整備に努めていただきたい。特に遊具の点検はしっかりやっていただくようお願いしたい。保育ICTシステムを導入していることは大変良いことだと思う。ICTの活用により業務の効率化が図られることで、より良い保育にもつながると思う。	B
重点事項	「生きる力」の基礎を培う教育活動の実践、支援	
事業名	1. 園児に夢と希望を与え、生きる力の基礎実現を培う園づくりの推進 2. 変化に対応する教育保育の実践 3. 指導の充実	
主要項目	①存在感（特色）あるこども園づくりの実践②特別支援教育の推進 ほか	
自己評価	施設周辺の住民や自然に触れ合いながら教育保育を実施した。また、農作物を育て、収穫し、食するという体験を通して食べ物の大切さを学習し、さらには情操教育の一環として茶道教室を開催して正座や作法、礼儀を学ばせるなど、特色ある教育保育活動を実施することができた。特別支援が必要な子どもには専属で保育教諭を配置して対応し、障がい児支援の研修にも積極的に参加してスキルアップを図った。園児が集団での遊びや当番活動により、友達との信頼関係を深めるとともに、さまざまな年代と交流することで人との関わり方を育んだ。	C
外部評価	子どもにとって体験することはとても大切なので、これからも様々な体験・経験をさせていただきたい。特別支援については、きめ細やかな対応をしていただきありがたい。特別支援担当教諭が不足しているのであれば、増員をお願いしたい。	C
重点事項	「確かな学力」を育む授業づくりの実践、支援（学びの連続性がもてる保育環境作りの実践、支援）	
事業名	1. 一人一人に確かな学びの基礎を培う教育保育の実践 2. 一人一人の学びの意欲を喚起し、やる気を育てる工夫、実践	
主要項目	①共通テーマに基づく研究の実践、研修参加推進 ②幼小の円滑な接続の重視 ほか	
自己評価	少ない研修機会に多くの保育教諭が参加し、講演や他園の研究事例等を学習することにより、研修で得た知識を他の保育教諭と共有し、教育保育の現場での実践に役立てた。小1プロブレムを解消し、年長組が小学校へスムーズに入学できるように、交流事業、体験入学や保育教諭と小学校教諭との引き継ぎ面談を行った。特別支援が必要な子どもの就学については、小学校、教育総務課及び保護者と連携を取り対応した。笑顔で元気に園生活を送ることを目標に、毎朝、リズム体操を実施し、活発な行動を促した。また、絵画コンクールに出品することで、絵を描く楽しさ、豊かな感性と表現能力を培った。	C
外部評価	先生方が研修会で情報交換を行い自己研鑽して、子どもたちに還元してほしい。年長児がより早く、スムーズに小学校生活になじめるよう、幼小連携・情報交換の場を多く持とうとしている点が評価できる。今後も幼小の情報交換の場を多く持っていただきたい。2園の年長児の交流は良い取り組みだと思う。	C
重点事項	「健やかな体」をつくる教育活動の実践、支援	
事業名	1. 園児の体力、運動能力の増進 2. 家庭や地域、関係機関との連携による園児の健康増進 3. 災害時緊急時の対応や危険予知、対処・回避能力の育成	
主要項目	①体育的行事の充実 ②「早寝・早起き・朝ご飯」運動の実践 ほか	
自己評価	園庭や遊戯室を有効に利用し、日ごろから体を動かす遊びを取り入れて健康で元気な体づくりに努め、運動会ではその成果を十分発揮することができた。また、毎日の園生活を元気に怪我をしないで過ごすために、朝のラジオ体操やリズム体操を実施し、基礎体力の向上を図った。早寝・早起き・朝ごはん運動を実践し、園児の朝食摂取率は100%であった。コロナ禍で実施を見送っていた歯科教室を再開して、歯科衛生士による講話と指導をいただき、むし歯の有病率は前年度と比較して大幅に減少した。各こども園で実施した引き渡し訓練では、事前に様々なケースを想定して準備を行い、訓練当日は確実に園児を保護者に引き渡すことができた。	B
外部評価	朝食の摂取率100%とむし歯の有病率が大幅に減少したことは素晴らしい。毎月避難訓練を実施していただき大変ありがたい。繰り返し訓練することにより、有事の際に身に付いた行動がとれるようになる。環境の変化により災害も多様化しているので、臨機応変に対応できるよう様々な想定での訓練をお願いしたい。	B
重点事項	「家庭の教育力」の回復	
事業名	1. 園、学校・家庭・地域社会の連携、協力体制の構築、推進	
主要項目	①こども園PTAによる各種事業、活動の推進 ②広報活動の実践 ③子育て支援 ほか	
自己評価	行事の運営にあたっては、多数の保護者の協力を得て、運動会や保育発表会などスムーズな運営をすることができた。また、園運営に地域の方々からさまざまな協力をいただき、地域との良好な関係を構築できた。朝夕の保護者との連絡・報告、園だよりの発行、連絡帳の活用等により信頼関係を構築することができた。また、子育て相談は内容が多様化・複雑化してきているが、保育教諭、保健師、栄養士がきめ細やかに対応し、内容によっては保健福祉課や関係機関と連携して対応した。	B
外部評価	保護者との連絡を密にし、信頼関係を構築できていることは大変素晴らしい。今後も信頼関係の構築に努めていただきたい。また、地域との交流もより深めていただきたい。保護者が悩みを一人で抱え込まないよう、より相談しやすい体制を整えて、子育てしやすい環境を提供していただきたい。	B

評価基準	自己評価	A：大きく上回る	B：やや上回る	C：目標達成	D：やや下回る	E：大きく下回る
	外部評価	A：期待以上	B：やや上回る	C：期待どおり	D：やや下回る	E：期待以下

教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価の結果に関する報告書【概要】

3 生涯学習課

重点事項	「豊かさや活気」にあふれ、学び続ける猪苗代の創造	
事業名	1. 生涯学習の推進	
主要項目	①学習機会と情報提供、相談体制の整備 ②世代間交流事業の充実 ほか	
自己評価	放課後子ども教室については、学校や児童クラブなどと検討を重ね、地域住民のご理解・ご協力により、安心・安全な体験を提供できるように努めた。今後も講座の回数や内容について関係者と協議を重ねるとともに、各種団体や近隣市町村で行われている講座の情報も紹介していくとともに、継続的な学習活動に繋がるよう、その支援と新規受講者の確保にも注力していきたい。	C
外部評価	放課後子ども教室は、多くの児童が楽しみにしており、今後も地域の方々との触れ合いを通して様々な体験活動が続けられるように期待している。教養講座については、町民の様々なニーズに応えながら企画・運営を続けるとともに、リピーターや新規受講者の確保にも注力していただきたい。	C
重点事項	「豊かさや活気」にあふれ、学び続ける猪苗代の創造	
事業名	2. 図書歴史情報館（和みいな）利活用の推進	
主要項目	①図書館サービスの充実 ②歴史情報室の利活用 ③和みいなボランティアの育成と活用 ほか	
自己評価	年間の来館者数、貸出冊数は前年実績に届かなかったが、コロナ禍で休止していたボランティアの活用について、読み聞かせや各種イベント、学習会など育成と活用を図ることができた。子ども園と児童クラブへは、通常程度本の貸出を行うことができ、読み聞かせも前年以上に開催することができた。また、企画展として開催した猪苗代ビブリオバトルや和みいな開館10周年記念講演会、ハロウィン・クリスマス等の季節のイベントでは、会場を埋める参加者を集客することができた。	C
外部評価	児童クラブや日向ぼっここの読み聞かせは子どものうちから読書に親しむよい機会なので、多くの親子に体験して欲しい。図書の貸出冊数は減少しているが、児童書の貸出割合が全体の40%を超えており、幼少期から読書に親しんでいるのが分かる。図書館では特集コーナーや本の並べ方など新しい本との出会いを提供してもらえる。歴史情報室ではブリオバトルや企画展など、毎年魅力的なイベントを開催していただいているので、多くの方に来館してもらえるよう効果的な広報活動をしてほしい。	C
重点事項	「豊かさや活気」にあふれ、学び続ける猪苗代の創造	
事業名	3. 文化財の調査・保存・活用事業の推進	
主要項目	①史跡の調査、保存・活用 ②民俗資料の調査、収集・活用 ③埋蔵文化財の調査 ほか	
自己評価	県指定史跡である猪苗代城跡附鶴峰城跡を国指定史跡とするため、文化庁の指導を受け事業を進めている。猪苗代町歴史民俗資料館は開館4年目を迎え、小学校の学習利用など町内外から約780名の来館者があり、前年度より、194名の増となった。文化財の保存では、町指定天然記念物保存事業により、磐梯神社の大鹿桜の保存に務めた。また、翁島地区の西谷地遺跡内における鉄塔立替工事に係る工事立会を実施するなど埋蔵文化財の保存に務めた。	C
外部評価	猪苗代城跡附鶴峰城跡の国指定史跡を目指して専門職の確保をお願いしたい。猪苗代町には多くの歴史や文化財が存在しており、歴史や伝統を後世に伝えることは大切なことである。歴史民俗資料館では懐かしい展示品をそろえ魅力的な企画展を開催しているので、町内のみならず会津若松市内の学校へも広報活動に尽力してほしい。	C
重点事項	「豊かさや活気」にあふれ、学び続ける猪苗代の創造	
事業名	4. 生涯スポーツの振興	
主要項目	①町民を対象にした各種大会や教室等の充実 ②総合型地域スポーツクラブの活用と体力の向上 ほか	
自己評価	町民球技大会についてですが、年々参加チームが減少傾向ではありますが、大会の趣旨でもあります町民の健康増進とスポーツ振興、または参加者の親睦などが交わされることもあり、令和6年度についても366名の参加がありました。引き続きより良い内容で開催できるよう次年度以降も内容についての協議を行っていききたい。町民運動会に変わる新たなイベントとして、猪苗代町スポーツフェスティバルを開催し、アトラクションや体力測定、ゲストによるトークショーなどを行い、649名の来場がありました。今後においてもより多くの方が参加できる内容となるよう検討していきます。ふくしま駅伝では中学校主体のチーム構成であったが、全国・東北中学駅伝で活躍した中学生男女の活躍により、町の部4位に入賞することができました。また、令和4年度から開催しているスキーマインカレについては、大雪の影響もあり、一部の競技が中止となったが関係者の協力を得て、無事終了することが出来ました。総合型地域スポーツクラブについては、会員登録数438名と増加傾向となっていますが、スクールコース、健康増進コース、プライベートコースの参加者が僅かずつではありますが減少となった。そのほかスポーツ少年団指導者の育成、各種セミナーや研修会の参加、公共スポーツ施設の整備、町スポーツ推進員による健康運動教室の開催など生涯スポーツの振興に努めました。	C
外部評価	町スポーツフェスティバルは自身も参加させていただいた。内容はとても良い内容であったと感じている。今年も子供たちが中心となり開催するのでとても期待している。昨年幼児等が遊べる室内施設が少ないので、施設の充実を図ってほしいとお話させていただいた。限られた範囲ではありますが、室内施設が整備されていたので感謝している。引き続き皆さんが参加できる事業や活動の場を提供してほしい。	C
重点事項	「豊かさや活気」にあふれ、学び続ける猪苗代の創造	
事業名	5. 文化活動の推進	
主要項目	①町民主体の文化活動の充実 ②体験交流館（学びいな）の利活用の推進	
自己評価	インターネット配信などにより演劇や映画などを劇場で鑑賞する機会が減りつつある今日、「ファミリーシアター」の開催は有効かつ好評だった。学びいなの協働清掃等を通して体験交流協会の会員が交流し、語り合える機会を設けた。今後も活動内容や回数等について同会と協議し、団体の活動意欲が継続していくよう見守るとともに、様々な相談に応じるなど支援を続けながら、生涯学習の振興と啓発に力を入れていきたい。	C
外部評価	学びいな祭りは、いつも盛況であり、大切な交流の場にもなっていると感じる。ファミリーシアターは、子どもの心を育てる貴重な機会でもあるので、今後も続けて欲しい。学びいなの協働清掃活動については、体験交流協会の会員だけでなく各種講座の参加者にも協力を呼び掛けるなどの方法も有効と思われる。	C

自己評価	A：大きく上回る	B：やや上回る	C：目標達成	D：やや下回る	E：大きく下回る
外部評価	A：期待以上	B：やや上回る	C：期待どおり	D：やや下回る	E：期待以下

令和6年度 猪苗代町教育委員会

教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価の結果に関する報告書【概要】

重点事項	「豊かさと活気」にあふれ、学び続ける猪苗代の創造	
事業名	6. 地域を担う人材の育成	
主要項目	①絆づくり事業による交流の充実	
自己評価	「母から子への手紙」は、前年度応募者に対するPRハガキ送付に加え、問い合わせの対応に配慮したため、全国から目標を超える応募があった。遠方から表彰式に出席した入賞者や家族へのおもてなしを徹底するとともに、野口英世に関する貴重な映画も好評であり、概ねご満足いただいたように感じた。今後も交流活動等を通して、心の育成を図っていききたい。「思い出の絵手紙」では、多くの子どもたちが思い出を見つけて描いてくれたことを嬉しく感じた。今後も関係機関と協力しながら、心身の健全育成に努めたい。	C
外部評価	「母から子への手紙」は、昨年で23回も続いているにもかかわらず、応募数が目標を上回ったことを喜ばしく感じる。今後も審査活動などを通して工夫しながら、地域の人づくりに尽力していただきたい。「思い出の絵手紙」は、中学生の応募を促進するとともに、例えば「自分の将来像」などテーマを変えてみるのも面白いと思う。	C

評価基準	自己評価	A : 大きく上回る	B : やや上回る	C : 目標達成	D : やや下回る	E : 大きく下回る
	外部評価	A : 期待以上	B : やや上回る	C : 期待どおり	D : やや下回る	E : 期待以下

## 第七次猪苗代町振興計画

～ともに地域を育て、みんなが心地よく暮らせるまち 猪苗代～

- 1 安全・安心を肌で感じる。
- 2 豊かな自然を活かしきる。
- 3 いつまでも猪苗代に暮らす。
- 4 人をつくる。そして、まちをつくる。
- 5 協働により、みらいをひらく。

## 猪苗代町教育委員会基本目標

野口英世博士の遺訓と歴史の教訓を生かし、地域の文化、特性に学び、  
未来を拓く猪苗代の子ども、人材の育成を目指す

## 猪苗代町 町民憲章

- 1 山と湖と緑と野鳥を愛する心で、公害のない住みよい町をつくりましょう
- 2 老人と子供を大切に、親切の輪を広げ、人情味のある町をつくりましょう
- 3 郷土の歴史を尊重し、若い力でさらに美しい豊かな町をつくりましょう
- 4 明るい町政のもとで健康に働き、活力ある平和な町をつくりましょう
- 5 教養を高め、文化を育て、礼節を守る町民になりましょう

## 令和6年度 猪苗代町教育委員会重点事項

### 生涯学習課

#### 「豊かさと活気」にあふれ、学び続ける猪苗代の創造

- 1 生涯学習の推進
  - ①学習機会と情報の提供、相談体制の整備
  - ②世代間交流事業の充実
  - ③社会活動・社会参加の機会の提供
  - ④技術・技能をもつ指導者の積極的活用
  - ⑤生涯学習活動の普及充実
- 2 図書歴史情報館（和みいな）利活用の推進
  - ①図書館サービスの充実
  - ②歴史情報室の利活用
  - ③和みいなボランティアの育成と活用
  - ④図書歴史情報館事業の周知
- 3 文化財の調査・保存・活用事業の推進
  - ①史跡の調査、保存・活用
  - ②民俗資料の調査、収集・活用
  - ③埋蔵文化財の調査
  - ④むかし体験館・歴史民俗資料館の利活用の推進
  - ⑤天然記念物の保護
  - ⑥文化財周知事業
- 4 生涯スポーツの推進
  - ①町民を対象にした各種大会や教室等の充実
  - ②総合型地域スポーツクラブの活用と体力の向上
  - ③スポーツ少年団の有資格指導者養成と指導者の資質向上
  - ④公共スポーツ施設の整備及び学校体育施設の利用開放
  - ⑤健康や体力の増進を図るための機会の充実
- 5 文化活動の推進
  - ①町民主体の文化活動の充実
  - ②体験交流館（学びいな）の利活用の推進
- 6 地域を担う人材の育成
  - ①絆づくり事業による交流の充実
  - ②町民総ぐるみによる青少年の健全育成活動の展開

### 教育総務課・こども課

#### 「生きる力」の基礎を培う教育活動の実践、支援

- 1 園児、児童生徒に夢と希望を与え、生きる力の基礎を培う園、学校づくりの推進
  - ①存在感（特色）のある園、学校づくりの実践
  - ②「私たちの誓い6ヶ条」運動の実践
  - ③「生活と学び方」運動の推進 ※立腰教育の推進（学習の習慣化と家庭学習の充実）
  - ④「猪苗代わくわくブック」運動の推進（読書の習慣化）
  - ⑤特別支援教育の推進（支援員の配置、研修会の開催等）
- 2 国際化、情報化等（変化）に対応する教育の実践
  - ①ICT教育環境の整備と情報活用能力の育成（情報教育・情報モラル教育・ICT教育支援）
  - ②小中学校英語教育の充実、推進（ALTの活用）
- 3 キャリア教育の推進
  - ①学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて基盤となる資質・能力の育成
  - ②特別活動を要として、各教科との関連を図った基礎的・汎用的能力の育成（教科等横断的な視点）
- 4 生徒指導の充実
  - ①人間関係調整・対処能力の育成（居場所づくり・絆づくり）
  - ②いじめの積極的認知、新規不登校の絶無（Q-Uの活用）
  - ③善悪の判断、規範意識の醸成
  - ④スクールカウンセラーの活用等教育相談活動の充実

#### 「確かな学力」を育む授業づくりの実践、支援

- 1 一人一人に確かな学力をつけさせる授業づくりの実践
  - ①各園、学校の個人研究ならびに現職教育部を中心とした園内、校内研究の推進
  - ②町学力向上推進委員会による共通テーマ「ともに学び、資質・能力の育成」に基づく研究実践、支援
  - ③町学力向上推進事業による授業研究会（こ、小、中、高）の連携による授業研究会など）の実施
  - ④授業支援ソフトの活用及びICTの活用支援（教科単元の特質に応じた展開の重視・教科等横断的な学習、探究的な学習へのつながり）
  - ⑤こ、小、中、高の円滑な接続の重視
- 2 各学年、学級、個人の学力の実態把握による授業改善の実践、支援
  - ①NRT学力検査の実施と結果の分析・活用
  - ②国・県の学力検査結果の分析・活用
- 3 一人一人の学習意欲を喚起し、やる気を育てる工夫、実践
  - ①中学校英語スピーキングコンテストの実施（認定証及び満点賞の授与）
  - ②野口博士顕彰記念行事、その他の各種コンクールへの参加奨励
  - ③作文、絵画、研究物、発明展等への参加奨励
  - ④各種検定（英検、数検、漢検等）への参加奨励

#### 「健やかな体」をつくる教育活動の実践、支援

- 1 園児、児童生徒の体力、運動能力の増進
  - ①学校の体育の授業、部活動の充実（IPFP事業）
  - ②園、学校の体育的行事の充実（野口英世博士顕彰記念 体育祭・スキー大会の充実）
  - ③各種大会への参加奨励、援助、支援
  - ④スポーツ少年団等地域スポーツ活動との連携による体力の増進、技術の向上
  - ⑤体力テストの実施、結果の分析・活用
- 2 家庭や地域、関係機関との連携による園児、児童生徒の健康増進
  - ①「早寝・早起き・朝ご飯」運動の実践
  - ②教委会栄養士、栄養教諭・技師との連携による園・学校給食・食育の充実
- 3 健康・安全に関わる危険予知・対処・回避能力の育成
  - ①交通安全習慣や災害等の緊急時に適切な行動がとれるようにするための意識付けや訓練の実施
  - ②関係機関との連携による各種健康教室等の実施
  - ③学級活動、理科、保健体育等の関連教科や総合学習の機会を通しての放射線に関する指導、教育の実施

#### 「家庭の教育力」の充実

- 1 園、学校・家庭・地域社会の連携、協力体制の構築、推進
  - ①各単P、町連Pとの連携による各種事業、活動の推進
  - ②園、学級・学校便りなどによる広報活動の実践
  - ③子育て支援に関して、関係機関との連携協力による支援事業の展開と教育・保育相談の機会の提供、実施
  - ④家庭での手伝い運動の推進

<経営スローガン>

志高く 辛抱強く

猪苗代の未来を拓く 人材の育成を目指して



「早寝・早起き・朝ご飯推進の町」宣言